

3.8.1 連携研究部門 融合研究グループ／産学連携グループ

グループリーダー（兼務） 草川慶一 ほか6名

拠点研究開発の推進

【概要】

拠点研究開発では、3年から5年程度の期間を定めて、大学や民間企業などの有能な研究者を研究開発拠点（リサーチセンター）に結集することにより、より効率の良い研究開発が実施でき、より高い成果を上げることが期待される研究開発を行っている（図1）。

平成22年度は北陸リサーチセンターで次世代ユビキタスネットワークシミュレーション技術の研究開発（プロジェクトリーダー： 篠田 陽一北陸先端科学技術大学院大学教授）を行った。

拠点研究開発プロジェクトの評価に当たっては、外部有識者による拠点研究開発評価委員会を設置するとともに、その下にプロジェクトごとの分科会を設置し、研究開発計画や成果を研究者から直接確認することによって評価を行い、その結果を基にして評価委員会において評価を決定している。

プロジェクトの概要等については、3.8.1.1を参照されたい。

また、NICTが自ら行う研究と大学や民間企業など外部機関への委託研究との連携を強化し、全体として最大の効果が発揮できるように、優れた知見・見識を有する学識経験者をプログラムコーディネーターとして招へいし、指導・助言を得ながら研究開発を実施した（表1）。

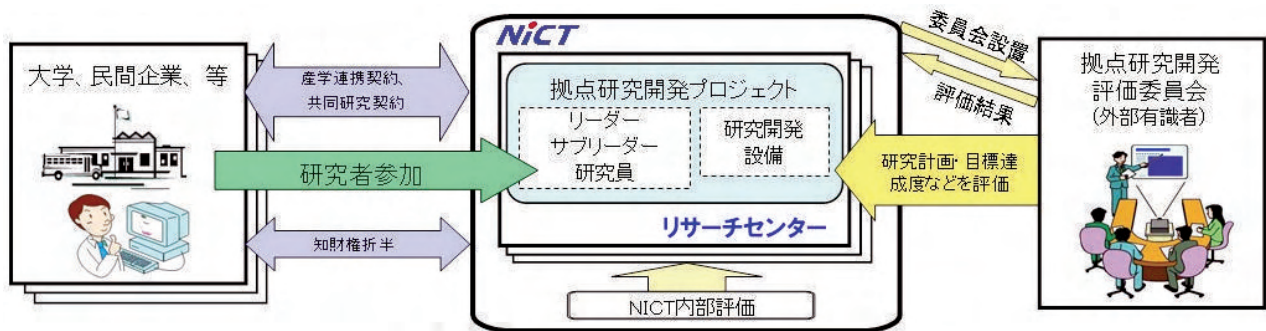


図1 拠点研究開発のスキーム

表1 プログラムコーディネーターの担当分野

| 担当分野 | プログラムコーディネーター | |
|------------------|---------------|----------------------|
| 新世代ネットワークアーキテクチャ | 青山 友紀 | （慶應義塾大学大学院教授） |
| フォトニックネットワーク | 神谷 武志 | （（独）大学評価・学位授与機構客員教授） |
| ユビキタスマバイル | 加藤 修三 | （東北大学電気通信研究所教授） |
| 医療支援 ICT | 河野 隆二 | （横浜国立大学大学院教授） |
| バイオ ICT | 柳田 敏雄 | （大阪大学大学院特任教授） |
| 超臨場感通信 | 廣瀬 通孝 | （東京大学大学院教授） |
| 電磁環境（EMC） | 杉浦 行 | （東北大学名誉教授） |